

2・3面

都本部2022賃金確定闘争方針
人員確保闘争・現業統一闘争

自治労東京

千代田区飯田橋3丁目9番3号
SKプラザ4階
電話 03-3556-3755
自治労東京都本部発行
企画総務局
責任者 染 裕之
編集者 須崎 崇文
1部10円(但し組合員は組合費を含む)

東京都・特別区人事委員会勧告

月例給は若年層のみ引上げ

一時金は東京都・特別区ともに0.10月

東京都人事委員会勧告の概要

月例給 公民較差(828円、0.20%)解消のため、給料表を引上げ改定、初任層の引上げに重要を置き、若年層について引上げ(初任給I類B 4,200円、II類 5,400円、III類 6,600円)
一時金 0.10月分引き上げ(再任用は0.05月)年間4.45月→4.55月(再任用 年間2.35月→2.40月)

今後の課題

・行政職給料表(一)1・2級の給与水準について、上位級とのバランスを考慮した昇給幅への是正の観点から、課題の解決に向けた適切な対応を引き続き検討

特別区人事委員会勧告の概要

月例給 公民較差(896円、0.24%)解消のため、初任給(I類4,500円、III類5,000円)及び若年層の給料月額を引上げ改定
一時金 0.10月分引き上げ(再任用は0.05月)年間4.45月→4.55月(再任用 年間2.35月→2.40月)

人事・給与制度に関する意見

・国の検討状況等を注視し、高齢層職員の任用や給与といった処遇の在り方について、研究を継続



▲10月17日(月)の都本部人事委員会勧告説明会の様子。自治労都庁職の鎌滝副委員長(右)と特区連の籠谷書記長(左)

10月11日に特別区、12日に東京都の人事委員会が勧告を実施し、それぞれ月例給・一時金ともに引上げとなった。特徴的な点は、初任給・若年層の給料月額の引上げに重点を置いた事だ。(一時金はそれぞれ0.1月引上げとなり、4.55月。再任用職員については0.05月引上げとなり、2.4月となった)
引上げの対象から中高年層(再任用職員含む)を排除した事は遺憾であり、都本部は東京の生活実態に見合う賃金水準の引上げにむけ、全力で2022賃金確定闘争を推進する。

すべての組合員の賃金水準改善へ 賃金確定闘争スタート

民間との初任給格差や最低賃金引上げの動向を踏まえれば、若年層への重点的な配分は一定理解できるものといえる。しかし、中高年齢職員、再任用職員、会計年度任用職員など、すべての職員が終息の見えないコロナ禍で住民の命と健康を守るため、現場で奮闘していることを考えれば、容認できるものではない。また、急激な物価高騰の影響を受ける生活の改善にも遠く及ばない。
一時金については、都・区ともに年間支給月数0.10月分の引上げ(再任用職員は0.05月分)とし、勤め手当に全て配分する勧告とした。現行制度で期末手当のみの支給とされている会計年度任用職員については、改善に繋がらず、常勤職員との均衡に反する内容となっている。
こうした勧告が示される中、都本部は11月18日を統一行動日として2022賃金確定闘争を開始する。▼
2面▶▶都本部2022賃金確定闘争方針
特別区は
一時金支給回数にも言及
区人勧では、2023年度からの一時金の支給回数に言及し、3月期末手当を廃止し、6月12月期を均等になるよう配分すると勧告

女性部

「女性労働カフェ」を開催 女性役員同士で気軽な情報共有

都本部女性部は9月2日、30日、10月21日の3回に渡り、女性役員のための「女性労働カフェ(以下カフェ)」を開催した(延べ52名参加)。女性の活躍が期待される中、女性役員が活躍する単組も増えているが、女性役員同士が気軽に情報共有できるネットワークがないことを女性部は課題と感じていた。
各回のテーマは「なぜ女性の私が組合役員になったのか話そう」(第1回)、「男女の賃金は平等なのか?」(第2回)、「定年が65歳になってどうなるの?」(第3回)とし、前半は女性部の三木事務局長が現状と課題を伝えた。後半は3・5名程度に分かれ、テーマに関することや、職場の課題などを自由に話し合った。「交渉に出ても言葉がわからない」などの「組合がある」に共感したり、人員不足など共通の課題に気づき、職制や職種を越えたつながりができた。
岩田女性部長は「カフェの参加を通じて、女性目線で職場の課題を知ることができたのではないかと。テーマに関する話もしたが、職場の実態や課題をたくさん話すことでお互いの理解が深まった。対面で話し合

たことも効果が増した。今後もこのような取り組みを続けたい」と話す。「楽しかった。ありがたい」と言って帰る参加者の声がかフェの盛り上がりを感じさせた。



▲第2回女性労働カフェ(9/30)の様子。参加者同士の自由な話し合いが行われた。

東奔西走

急に、最近めっきりと秋(冬)らしい気候となってきた。直近の今年の夏は、豪雨や台風による風水害が各地で多数発生した。地球温暖化が一因と思うが、その話は別の機会にすると、自治体現場では、その対策に追われ奔走した。また、他自治体に応援要請があり、対応したと聞く。▼東日本大震災からは11年が過ぎた。今でも各自自治体から、被災地に応援派遣が継続されている▼当たり前のように他自治体から応援人員を派遣し受け入れている自治体行政が、果たして正しいのだろうか。また、災害時に即応できる体制を整備するため定数増・人員を確保したという自治体の話は、全く聞かえて来ない▼これらを実現するのが、自治体労働者の労働組合である自治労であり、東京都本部である。2022年度も2次にわたる人員確保闘争・現業統一闘争を闘ってきた。今こそ安心して過ごせる社会を実現するために、自治労・都本部に結集し、要求実現のために闘っていきましょう!

(大塚)

知っていますか?
自分の最低賃金
東京都 最低賃金
1,072円
令和4年10月1日から
31円UP
会社員、パート、アルバイトの方、学生さんなど働くすべての人と雇う人のためのルールだよ!



●出身県：東京都
●組合歴：
2018年 入職・組合加入
2019年 執行委員
2022年 執行委員長

一人旅が好きだ。友人や家族と行く旅行も楽しい。だが、一人で行く旅行にはまた違った魅力がある。自分の好きなことだけをするために出かけていき、自分の思うように過ごす。自分のためだけの旅というものは、特別なものだ。

私のおすすめ

『一人旅初心者』

自治労町田市図書館嘱託員労働組合 執行委員長

福田 友菜

私の好きなものは本、カメラ、それからおいしい食べ物だ。旅行に行く時も、その3つを中心にプランを立てることが多い。旅先にある本屋や図書館を覗き、カメラを持って散歩をする。そして現地の名物や評判になっているお店などを訪ね、おいしいものをお腹いっぱい食べる。観光をしているのも楽しいが、旅先で一番好きな時間は本を読んでいる時間だ。旅行に行く時には、旅先が舞台になっている小説を持っていく。移動中にその本を読み始め、移動中の行き先を想像して楽しむ。宿ではその日に見てきたその街の雰囲気などに浸りながら本を読み進める。最後に、帰りの移動中にこの旅行のことを思い返しつつ本を読了する。これが私にとっての最高に贅沢な一人旅である。



●2022年10月1日(土)より
シネマ・チュプキ・タバタにて先行公開
10月22日(土)より新宿's cinema
(03-3352-2471)
ほか全国順次ロードショー
シネマ・チュプキ・タバタHP
<https://chupki.jp/>

北区田端にある「CINEMA Chupki TABATA」は、見えない人、聴こえない人、車いすの人、小さな子ども連れなど、誰でも一緒に映画を楽しむことができる日本唯一のユニバーサルシアター。上映する全作品に「音声ガイド」と「字幕」がつく。その映画館に「耳の聴こえない人にも演劇を楽しんでもらいたい」と挑んだ3人の舞台手話通訳者たちの記録映像を目の見えない人にも伝えられないか? 見えない人に手話を伝えるにはどうしたらいいか、これを映画にしたいという話を持ち込まれ、映画館代表の平塚千穂子プロデューサーに、2021年9月、本作の撮影はスタート。コロナ禍で進行した、見えない人、聴こえない人、個性豊かなメンバーによる「音声ガイド」作り。お互いの「わかるわからない」を話し合い、ちよつと無茶かとも思えたアイデアから、見えない人と聴こえない人に対する対話の生まれ、互いに知らなかったことに気づく。

演劇との架け橋になろうとした舞台手話通訳者たちの想いを伝えようと、壁にぶつかっても音声ガイドづくりを「諦めないメンバーたちの想い」がいつしか言葉を超え、障害のあるなしを超えて、「こころのバトン」をつなげた。



シネマジャーナル
編集者
穂曇 萌

『こころの通訳者たち What a Wonderful World』
監督・山田礼於 プロデューサー・平塚千穂子
見えない人、聴こえない人にも
映画を楽しんでもらおうと挑戦した人たち

Best Shot!! 第25回 ベストショットコンクール

応募資格 自治労東京組合員もしくは退職者会会員であること。

テーマ 「マイベストショット」

部門

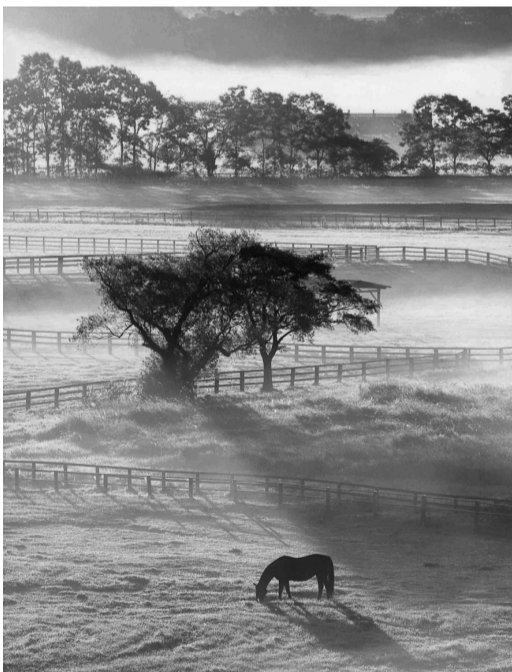
- ①一般部門
- ②ネーチャー部門
 - サイズ：2L(キャビネ)～四つ切り(四つワイド可)
 - カラーまたはモノクロで単写真に限る(組写真不可)
 - 応募票に「一般部門」か「ネーチャー部門」どちらかをご記入下さい。
 - 応募票を作品の裏に貼り付けて都本部へ送付してください。
- ③携帯・スマホ部門
 - Eメールで応募を受け付けます。
 - 件名を「第25回ベストショットコンクール」とし、本文に「写真タイトル」「氏名」「電話番号」「撮影地」「カメラアプリ名(使用した場合)」「住所」「組合名(単組・支部)」をご記入ください。
 - アプリを使用したの撮影可(ただしスタンプ、文字入れ、フレーム等の使用は不可とします)

応募 各部門 1人3点まで

作品の返却はしませんので予めご了承ください。

★表彰等

入賞作品は「自治労東京2023年新年号」、「自治労東京ホームページ」に掲載し、商品券をプレゼントします。



昨年の最優秀賞「朝陽の息吹」/町田市職労 守屋 涼さん

- 最優秀賞 1点……………3万円の商品券
- 優秀賞 各部門1点(計3点)…2万円の商品券
- 佳作 3～4点……………5千円の商品券

★送付先

自治労東京都本部 企画総務局宛 TEL:03-3556-3755
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ4階
Eメール: kikakusoumu@jichiro-tokyo.jp

締切 12月5日(月)必着

画題	
氏名	
電話番号	
撮影地	
部門	一般部門/ネーチャー部門/携帯・スマホ部門
住所	
組合名(単組・支部)	

各種選挙 自治労東京都本部 推薦候補者 (2022年10月25日 第8回単組代表委員会決定)

新宿区長選挙 (2022年11月6日告示・13日投票)

【一般推薦】 吉住 健一 現職2期 50歳 無所属

松戸市議会議員選挙 (2022年11月13日告示・20日投票)

【一般推薦】 二階堂 剛 現職9期 68歳 立憲民主党

西東京市議会議員選挙 (2022年12月18日告示・25日投票)

【一般推薦】 森 しんいち 現職4期 63歳 立憲民主党

第20回統一地方選挙 (2023年4月予定)
都本部推薦 (第一次) 立候補予定者

<組織内候補>

- 【荒川区議会議員】 河内 ひとみ 現職1期 61歳 無所属
- 【北区議会議員】 大畑 おさむ 現職8期 68歳 立憲民主党
- 【八王子市議会議員】 森 ヨシヒコ 現職1期 41歳 無所属

<準組織内候補>

- 【新宿区議会議員】 小野 裕次郎 現職2期 51歳 立憲民主党
- 【東久留米市議会議員】 間宮 みき 現職5期 59歳 無所属
- 【国分寺市議会議員】 星 いつろう 現職2期 49歳 立憲民主党